

令和7年度 第4回川崎市社会教育委員会議多摩市民館専門部会摘録

- ・日 時 令和8年2月22日（日）13時30分～15時30分
- ・場 所 多摩市民館 第1会議室
- ・出席委員 高梨宏子部会長、山本和恵副部会長、栃木達也委員、伊藤千津子委員、三品勉委員、澤典子委員
- ・事務局 坂尾康章館長、篠原和則課長補佐、星野弘明担当係長
- ・傍聴者 なし

1 開 会（星野担当係長）

2 あいさつ

3 市民自主学級・市民自主企画事業提案会・選考会（非公開）

令和8年度多摩市民館の市民自主企画事業1事業について企画提案が行われた。選考会において、当該事業が実施対象として選考され、川崎市社会教育委員会議へ報告することとなった。

4 令和7年度第3回会議録について

資料1に基づき星野係長から説明し承認された。特に質疑はなし。

5 議題

（1）多摩市民館における各種事業について

ア 施設の管理運営について

資料2に基づき星野係長から説明。

イ 社会教育振興事業について

資料3に基づき篠原課長補佐から説明。

（2）調査・審議事項について

資料4に基づき篠原課長補佐から説明。

（三品委員）

資料4（15頁）「（4）指定管理者制度導入後の取組推進イメージ」に、「市民館の利用促進の面からも指定管理者の知見を活かした支援を各団体に行うことが期待される」とある。書いてあることはもったもであるが、指定管理者の知見を活かした支援とは具体的にどのようなことなのか。

（篠原課長補佐）

指定管理者の代表者は、府中市の市民活動センターを運営されている。地域で活動する団体同士のマッチングや活動が上手くいかない団体からの相談を受け付けたりされていると推察しており、そうした経験や知見を多摩市民館でも活かしてもらえたらと考えている。

（伊藤委員）

たま学びのフェアは、次年度以降もこれまでどおり遂行していった方がいいのか。これはできない、というような話はこれまで聞いていない。

(篠原課長補佐)

資料3で課題別連携事業として記載している4つの事業については、各団体と同じように指定管理者に引き継いでいく。2027年のたま学びのフェアのスタートから指定管理者が担っていくこととなる。

(山本副部会長)

資料5の調査・審議事項のまとめにある、「学びを通して、人・つながり・地域づくりを支える生涯学習の拠点を目指して」という点は共感できる。ただ講義を聞いて満足するというだけでなく、集まった人たちと意見交換をしてつながりを生むこと、さらにその先に、こういった活動をしてみようとつながっていくことが理想的である。

(高梨部会長)

前回会議の意見から、今回の調査・審議の取りまとめ資料では、つながりが生まれることを重視して記載している。つながりには、人と人、団体と団体、市民館と地域など色々なものがあるが、ただ人が集まるだけでは実はつながりは生まれないのではないかと思っている。なぜ市民館という社会教育を行う場がつながりが大事かという、「学ぶ」ということがあるからだと思う。「学び」があるから次も何かやってみようとか、先につながるものが生まれてくる。一人の人の中で、その人を次の学びにつないでいくということもあるのだと思う。

(栃木委員)

ここに来ればためになる場所というのは、自分が学びたくなるからまた来るといことになり、そういったこともつながっているのだと思うと、資料4は色々選び抜かれた言葉なのだと思う。行きたくなる市民館になるにはどうすればよいか、色々なお話を伺って自分が勉強になった。

(澤委員)

以前、中原区のナーシングセンターで行われたプレ・パパママ向けの集いに参加したが、子どもが生まれた後、もう一度集まりませんかという誘いをいただき、そこからサークルを作って活動したことがある。多摩区ではそういうところが無いのか。多摩区の中で行くとすると、こども文化センターなど自発的に行かなくてはならない。自分は子育ての色々な場面で中原区に行っていた。多摩区でも、生まれる前から皆さんで集まって、生まれた後もことあるごとに集まれるような場が、市民館で生まれると良いと思った。

(高梨部会長)

今期の調査・審議のまとめについては、修正の御意見等無ければ、事務局から提示された資料4のとおりとしたい。

(委員了承)

(高梨部会長)

他に委員から何かあれば伺いたい。

(伊藤委員)

たま学びのフェアは毎回の実行委員会ごとに作業がある。2月15日の第3回実行委員会では、立て看板を掲げたり、掲示物を掲示したりする作業があったが、作業を通じて感じたことは、話し合いをしながら手作りの作業をすることで、人とのふれあいとはこういうことなんだということ。温かい言葉をかけ合い、これこそがテーマである「出会い、ふれあい、学び合い」だと思い、本当にやっていてよかったと思った。すばらしいことをしているとつくづく思ったので報告させていただく。

6 閉会 (山本副部会長)